

自然感

くすのき

yumi



季節感

実りの秋...猫の大好物です。
写真上部の虫癭は天蓼と言う漢方薬になり珍重される。この後、35度の焼酎に漬けられ来年は美味しい果実酒になる

『マタタビの実』

平成19年9月中旬
佐賀県七山村にて採集
大塚俊樹



熊洞居人独言

19

クマは先日太宰府市民の前に出現した。太宰府市では市民を対象に「太宰府発見塾」という名称の講座を行っている。5月から3月まで11回の講義と5回のフィールドワーク、1回のシンポジウムが計画されており、太宰府の歴史に係わる内容と、歴史を生かしたまちづくりが話題の中心となっている。この講座は200名の定員で昨年度より開始され、今年度も熟年層を中心に200名近くの参加がある。クマは市の文化財専門委員をしており、自然分野を担当している関係で講義の依頼を受け、「太宰府市の植生と自然の歴史」をテーマに講演を行った。

太宰府市は東から北西にかけて宝満山や四王寺山、および天満宮付近の低山や丘陵に囲まれており、更に西南部は天拝山から黒金山にかけての尾根に接している。現在、これらの山々や丘陵は自然林や雑木林、スギ・ヒノキや竹林などの植林に覆われている。山々が作り出す四季折々の緑や紅葉の景観は、市民や太宰府を訪れる人々の目を楽しませている。特に宝満山は、山頂付近にブナ林やモミ林、アカガシ林などの自然林が生育し、これらの自然植生は県内でも貴重なものである。これらの植生を目にしたとき、多くの人は宝満山は昔から素晴らしい森に囲まれた山だったと直感する。四王寺山も新緑の頃は素晴らしい景観である。はたして100年前、200年前も自然景観が人々に感動を与える山々であったのだろうか。答えは「否」である。

200年前に描かれた、奥村玉蘭著「筑前名所図絵」や130年前の記録である「福岡縣地理全誌」などの記録を見ると、宝満山は一部を除き里山景観であり、四王寺山は全山が茅場と薪林地であったと認定できる。クマの50～55年前の記憶でも、宝満山麓はアカマツ林が中心であり、四王寺山は半分以上がススキ草原であった。

(次号へつづく)

鎮守の杜シリーズ・桜井神社観察会のお知らせ

落葉の木々が紅葉を始める、晩秋の鎮守の杜を楽しみましょう。

日時：11月3日(土・文化の日)
10:00～15:00

集合場所：JR唐津線・波多江駅前 10時集合

* 集合場所より車に分乗して現地に向かいます。

* 自家用車は、駅隣の「JA波多江」に駐車します。

持参品：弁当・茶・ノート・筆記用具・観察用具など

主催：NAIS-F

案内者：冷川昌彦

*雨天決行・但しこの場合時間短縮あり

環境フェスティバル福岡2007

ナイス福岡では、今年の6月定例総会で提案していたように『環境フェスティバルふくおか2007』に参加します。

日時：2007年10月27日と28日
それぞれ10時から16時まで。

場所：福岡市役所西の広場・天神中央公園
・イムズ広場

ナイス福岡は天神中央公園にお店を出します。

協力いただける会員は、10/27の午前、午後、10/28の午前、午後という場合も構いません。もちろん2日間出席大歓迎します。事務局田村まで連絡をください。連絡先は会報くすのきの最終頁を見てください。

足元の自然を見つめよう

松永紀代子

キチキチキチとモズの声が響く。黄金色に実った稲穂が重たそうだ。ウスバキトンボはキラリ、キラリ。水を抜かれた田んぼでは、乾き始めた土の上にコナギの葉がしんなりと張り付いている。チョウジタデは元気。草刈りが行われた土手にはコマツナギの横に伸びた枝にピンクの小花が残っていた。ヒガンバナが盛りで、カラスアゲハが蜜を求めて翅を震わせる。ウラギンシジミが高速で飛んではビシッと止まる。三国の里山の何気ない秋だ。



先日畑の畦の法面にピンクの花を見つけた。「うわ、あった。ゲンノショウコだ！」思わず声がでた。この近くでこの花を見たのは5, 6年も前のことになる。その時は畦に沢山咲いていた。こんなにあるんだから大丈夫と思っていた。次の年、畦の整備がおこなわれ、地形が変わってしまった。その次の年も、またまた次の年も、そして今年もその場所にピンクの花が咲くことはなかった。しまったと思った。あの時種を採集しておけば・・・と。だから先日、この花が以前の場所から少し離れたところにほんの少し咲いていたとき、迷わず枝を折って持ち帰った。うまくいけば庭に挿し木をしよう。種ができれば、簡保跡地にもまいて、それから自宅にもまいておこう。そうすることで、三国の植物の一つが保存されることとなるのだ。

「なあんだ、ゲンノショウコか！」と思われるかもしれない。どこにでもあるはずの普通の野草だ。が、今の普通のものがどんどん消えているのだ。絶滅危惧種だけに目を向けてはいけぬ。

大規模区画整理、大規模宅地開発、大規模商業施設の開発、こういった開発は一帯の全てのものを奪い去っていく。そして住宅の玄関には、派手な園芸種が次々と並ぶ。残された空き地には土砂の搬入で紛れ込んだ外来種や、住宅から逃げ出した園芸種が競うように咲くこととなる。

三国丘陵には大木の茂る森がある。しかし、その森の間際、溜池の堰堤のすぐ下まで住宅がせまっている。林の縁にあるはずのタツナミソウの仲間や、湿った場所のサイヨウシャジン、それから、コキンバイザサ、アイナエ、ヒメハギなど、部分的に残された里地里山に局地的にあるに過ぎない。この場所も大きな開発があるとあっという間になくなってしまうだろう。それは単に小さな花々が無くなるだけでなく、ここで命をつないできた多くの生きものが絶滅してしまうことを示している。

三国丘陵の自然を楽しむ会を立ち上げたところ、自然観察指導員の方々が何人も会員になってくださった。観察会や編集会議のたびに遠くから駆けつけてくださる。本当にありがたいと思う。そんな姿を見て地元の人々も、私たちも何かしなければと仲間になって下さった。皆小さな生物や草花で季節を味わい、森の恵みをありがたく思っている。

私は三国のフィールドを何度も歩く。歩くたびに違うものが見えてくる。そしてささやかな喜びと落胆を味合う。足元の身近な自然を見つめること、それがそれぞれの場所から緑がなくなるために必要なことだと思う。



セヴァン・スズキ・ハチドリツアー2007 ～Young generation stands up for change!～ ご案内

日時：2007年11月6日（火） 18:00 開場、18:30 スタート、20:40 終了
場所：福岡国際ホール（西日本新聞会館 16 階 福岡市中央区天神 TEL：092-712-8855）
入場料：大人 1,500 円（前売り 1,200 円）
中高生 1,000 円（前売り 800 円）
小学生 500 円 *未就学児無料、逐次通訳有

http://www.shokuiku-fukuoka.jp/event/event071106_01/index.html

（参考）

セヴァン・スズキ人物紹介

http://www.windfarm.co.jp/severn/severn_suzuki.html

伝説のスピーチ 環境サミット@リオ

<http://jp.youtube.com/watch?v=C2g473JWAEg>

日本野鳥の会福岡支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）

10/21 11/18日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時間：9:00～12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

10/27 11/24（土）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時間：8:00～11:00
集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

11/4（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時間：9:00～12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

11/10（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時間：9:00～12:00
集合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

11/11（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時間：9:00～12:00
集合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

日本野鳥の会筑後支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）URL: <http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>



FUMI

10/28（土）
濃施山公園（高田町）
時間：10:00～ 弁当必要
集合：公園内すいせん橋
問合せ：0944-58-1672（野田）



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

福岡植物友の会 主催

10/27（土）
時間：9:30～11:00 くらいまで
その後編集会議
集合：簡保レクセンター跡地正門
問合せ：092-920-3072（松永）
要：保険料・駐車場代（小銭）

報告
簡保レクセンター跡地を主に自然観察冊子の作成を手弁当で行っています。印刷にはエフコープの助成金を使わせていただきます。ご協力をお願いをするかも知れません。その時は宜しくお願いします。

10/21（日）
鐘先海岸（宗像市）
ナタオレノキ、海岸植物
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

和白干潟を守る会 主催

久留米の自然を守る会 主催

10/27（土）
守る会定例会議
時間：10:30～12:30
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-5588（田中貞子）

10/27（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：092-661-1594（田辺）

10/14日（日）
第349 回例会：ネイチャーゲームと自然観察会
秋の自然を満喫しましょう。
時間：9:30～14:30
集合：高良内幼稚園
（竹の子バス停下車、徒歩1分）
持ち物：弁当、水筒、筆記用具
参加費：無料
問合せ：0942-46-8622（古賀）

福岡市油山自然観察の森 主催

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

10/20（土）
（牧場まつり）森のクラフト工房
どんぐりや小枝、マツボックリなどを使って、オリジナルの作品をつくれます。雨天実施
時間：10:00～15:00
集合：も～も～らんど
対象：一般
申込み：不要・随時受付
定員：なし

10/21（日）
実りの森・自然かんさつハイキング
秋たけなわの森で、木の実や草花、紅葉などを楽しめます。雨天実施
時間：10:00～13:00
対象：一般
申込み：不要・随時受付 9:30 から
（自然観察センター）
定員：なし

問合せ：油山自然観察センター
参加費：100円
〒811-1355
福岡市南区松原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00～16:30（月曜休館）



青葉パークネイチャークラブ活動報告

青葉パークネイチャークラブも発足して半年が過ぎました。「くすのき」でスタッフ募集の協力をえて、自然観察指導員 8 名と地元参加者 2 名の 10 名のスタッフと 11 名の会員でスタートしました。4 回の開催をへて会員も 15 名に増え、地元参加者のスタッフも山口県での自然観察指導員講習会に参加し自然観察指導員の仲間がも増えました。

青葉公園の管理者及び自治会の協力を得て、午前中は青葉公園での自然観察、午後は青葉公民館で自然観察を題材とした環境教育・学習や「会員・スタッフが楽しめる」色々なプログラムをスタッフ一同で考案し実行しています。会員の大半が低学年であるため難しい面もありますが、参加者一同充実した時間を過ごしています。開催日前に行う現地事前調査でベテランスタッフの観察指導や意見交換、ピクニック気分でお茶菓子をいただきながらのプログラムの作成など毎回楽しく過ごすことを楽しみにスタッフが参加しています。

前回の開催で会員の作成したロゴマークの中から会のロゴマーク案が決まりました。構成を行って 12 月の開催日に発表を行う予定です。

本会も「こどもエコクラブ」に登録しました、来年北九州で行われる全国フェスティバルに当会も壁新聞を作成して参加する予定です。



～青葉公園での自然観察～



～佐々木先生を迎えて昆虫観察～



～トンボの住む水辺の計画・模型づくり～



～桜 開花～

この夏はいつもよりも非常に暑かった。その暑さが、暦の上で秋となった9月になっても夏が続き続きました。この9月は秋を感じる気温ではなかった。秋の『ハチクマの渡り』を観察している福岡市城南区の片江展望台は、標高210mなので、計算上少なくとも平地よりも1.3倍低いのですが、そんなこと殆ど感じさせてくれませんでした。

そんな片江展望台でしたが、そばのソメイヨシノの葉がクロモンシャチホコガというガの幼虫に葉を殆ど食べ尽くされてしまいました。この秋、桜の紅葉が鑑賞出来ないことになってしまった。ところが10月に入ると葉のない枝先に白い花の塊が目につくようになりました。写真（撮影：山本勝

氏）は10/5夕方の様子です。この時期、春に咲く花が秋に咲くと、この花を見返り花とも呼ぶそうです。

私には桜の木1本を見ていても日々変化している。やっぱり自然は不思議で楽しくておもしろいなあと。

田字草



～水城堤を守ろう～

「水城」と言う名前は、日本の古代史に興味のある人なら誰でも知っている。福岡平野の南部、大野城市と太宰府市の境界に位置し、四王寺山麓から牛頸山麓にまたがる全長1kmの土塁である。古代の九州を統括するために設置された初期の大宰府を防衛するため、西暦664年（天智3年）に築かれた施設である。「水城跡」として、大宰府跡と共に1921年に最初に指定された国指定史跡である。現在は関連する大宰府跡、基肆城跡（基山）大野城跡（四王寺山）などと共に国特別史跡として保護されている。

水城堤が築かれたのは、その前年663年に日本が百済救援のため派遣した水軍が、白村江で唐・新羅連合軍に破れたためである。日本書紀によると、このとし（敗戦の翌年）に国土防衛のため「対馬、壱岐、筑紫国などに防人と烽をおき、筑紫に大堤を築きて貯水し、名を水城という」と記載されている。堤の規模は高さ14m、基底部幅72mで、1975年の発掘調査では前面（博多側）に幅60mの水濠が確認された。水城が築かれた翌年（665年）には基肆城、更に翌年には大野城が築かれた。これらの築城には百済人の技術者が派遣されており、水城造築にも彼らの関与が推察されている。

近年の発掘調査時には、基底部（地下3m）にアラカシなどの新葉が付いた若枝が敷き詰められているのが確認され、筆者も現場で緑色の残る若葉を発掘現場で確認できた。これらの若枝は近隣の山麓から採取されたものと考えられ、この時代すでに付近の丘陵部や山麓は雑木林であったことが推察される。



～奥村玉蘭著『筑前名所図絵』（1820年頃）より水城図～



～水城堤台風被害の様子(2006年)～

案である。しかし、このためには大木に人手が必要である。より良い方法を、皆さんと共に考えて行きたい。

水城堤が造られて今年で1343年、多少の崩れはあるもののほぼ元の姿が保たれている。造築時には防衛目的で管理が行き届いていたと考えられるが、外敵侵攻の危険が薄まってからは管理は放棄され、付近の里山による里山の利用がなされ出したと思われる。その後近年まで、1000年以上にわたり薪秣林や茅場として利用がされてきた。1960年代から次第に里山利用がされなくなり、最近は樹木の生長が著しくなってきた。そして昨年の台風でついに大木に生長したシイノキが倒壊し、根が堤上を剥ぎ取った。本格的な水城堤の崩壊が始まったのである。因みに倒壊したシイノキは胸腔直径50cm、樹齢はおよそ60年であった（年輪で測定）。日本の歴史を象徴する水城堤を消滅から救い、どのように管理して行くか。私の提案は、大木は伐採し里山に戻して維持する、と言う

kuma・冷川



これは何だろう!?



これは何だか
解かりますか?

事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費:2000円

皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(旬)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております! 次回の定例会は、**11月9日(金)**午後6時より事務局で行います。11月号の原稿は、10/31(水)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第78号 2007年10月1日

福岡植物友の会 会報 平成19年10月号 第48巻

福岡県NPO・ボランティアセンター コンテ8 Autumn 2007

鳥根県自然観察指導員連絡協議会 おとしぶみ68 2007.9.

NOP法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 no.142 2007年10月1日

福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.38 Sept 2007



編集後記

2007年9/14定例発送会は、大塚俊樹・田中健二・冷川昌彦・田村耕作が参加。T.Oから美味しいヤマボウシの実(写真参照)KMから珍しいマロンポテトパイの差し入れに感謝。小野仁・山本勝・西村裕美・藤川渡から欠席の連絡あり。残暑厳しい9月でしたが、ハチクマの渡り観察に力が入りました。季節はしっかりと移っていました。田字草



お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表: 冷川昌彦 / 事務局長: 小野 仁 /
編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計: 宮原俊彦
〒810-0061 福岡市中央区西公園 8-17
自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX: 092-732-7042
URL: <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

